

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 学校法人創成学園 札幌創成高等学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

所在地 〒001-8501

E-mail tmima@sosei.ac.jp

Website https://www.sosei.jp/index.html

幼児児童生徒数 男子 416 名 女子 343 名 合計 759 名  
幼児・児童・生徒の年齢 16 歳～18 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は「異文化理解・社会貢献プロジェクト」をユネスコスクール実践の学校理念として掲げ、ESD の理念をもとに「自らの力を様々な形で発信出来る力」の育成を目標としています。

具体的には、①異文化理解・交流に関わる活動 ②社会貢献に関わる活動 ③地域社会とのつながりに関わる活動 ④環境保全に関わる活動などを行ってきました。

### ① 異文化理解・交流に関わる活動

主に、国際・グローバルラーニングコースの生徒に関わる教育活動

・English Summer Camp 留学中の大学生を招聘して宿泊しながら留学生を語り合う

・Recitation Contest 海外著名人のスピーチを暗唱して、コンテストを行う

・International day 特進コース全員がグループごとテーマを定めてに英語で発表する。

## ② 社会貢献に関わる活動

主に、全校生徒に呼びかけをして行う事業

- ・ヘアドネーション 医療用ウィッグを必要としている人たちに約30cm以上の髪を寄付している。
- ・シューズドネーション 学校で使用していた靴を卒業時に寄付をして、ボランティアの生徒が洗って、アフリカの子供たちに送る活動。(今年は104足を送った)

## ③ 地域社会とのつながりに関わる活動

主に、部活動等で地域の施設や行事に関わる活動

- ・茶道部 老人ホームなどに出向いて「お点前」を行う。
- ・太鼓部 地域のお祭りでの演奏 幼稚園での演奏など
- ・ボランティア部 赤い羽募金・あしなが募金・町内会での花壇づくりなど
- ・吹奏楽部、合唱同好会 地域の方をお迎えしてサロンコンサートを行う。
- ・文化系部活動 校外展 地域の会場での作品展示など

## ④ 環境保全に関わる活動

主に、教科指導の中で地域の環境を学ぶ

- ・理科 地域の「大学村の森」での環境学習



## ①Recitation Contest



③ボランティア部



④環境保全に関わる活動

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<https://www.jhdac.org/index.html>  
シューズドネーションのパンフレット

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校ではユネスコスクールの理念のもと、多くの教育活動の中で「異文化理解・社会貢献」への意識向上を目指し「自らの力を様々な形で発信出来る力」を身につけることができる生徒の育成を目指している。

- ・教科指導 英語・地歴公民・理科などが連携して取り組む（インターナショナルデー）
- ・学校行事等 海外修学旅行の実施 ・ニュージーランド語学研修  
ニュージーランド姉妹高との交換留学生
- ・部活動 地域社会との交流

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

・グローバルラーニングコースの生徒ばかりでなく、留学生報告会なども特進生徒全員で行っている。英語の授業ではALTは常勤講師としてすべての生徒との関わりを大切に異文化理解に努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・今年度（平成29年度）がユネスコスクール認定初年度であったが、教員の意識も向上し、各行事への取り組みの広がりも見られた。  
・しかし、目標である「自らが発信できる力をもつ生徒」に向けての取り組みをさらに広げる必要がある。AGE（構成的グループエンカウンター）の取り組みも行い、心の広がりを目指している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・ ESD に関わって、「自ら発信できる生徒」を育むことが大切であると考えています。今の社会で課題となっている「テーマ」をグループごとに英語で説明、発表する取り組み。新聞を使つての「NIE」の取り組みで発表する取り組みも行っている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

Japan Hair Donation & Charity (ジャーダック) と連携して、小児がんやその他の病気で医療用ウィッグを必要としている子供たちに、約 30cm 以上の髪の毛を寄付している。  
シューズドネーションに関しては、RESULTS (特定非営利活動法人) と連携してアフリカに靴を寄付している。  
茶道部は地域の老人ホームを訪問して、お点前を披露している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

他ユネスコスクールからの申し出が、長期に渡るものであったため対応できなかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

国際交流関連のイベントで、本校へ来校する外国人の数が増えた。これはユネスコスクール同士の交流で増えたわけではないが、加盟したことにより教員の意識がこれまでより高まり、受け入れに対して積極的になったことが理由である。今後加盟校同士での交流が増えれば、より多くの受け入れが見込まれる。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- 「自らの力を様々な形で発信出来る力」をもつ生徒を育む。
- 1 異文化理解・交流に関わる活動  
グローバルラーニングコースの教育内容のさらなる充実  
全校生徒に関わる活動の充実
  - 2 社会貢献に関わる活動  
社会への関心を高める N I E の取り組み  
ヘアードネーション  
シューズドネーション
  - 3 地域社会とのつながりに関わる活動  
部活動の地域交流のさらなる推進
  - 4 環境保全に関わる活動  
地域の「大学村の森」を守る活動への参加